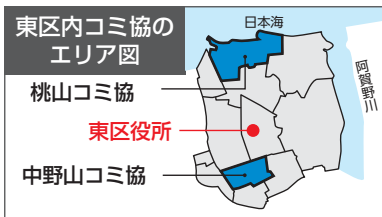


トーク(得)  
東区する  
コミ協  
情報

地域コミュニティ協議会(コミ協)は、地域における課題の解決に向けて、地域で主体的に取り組むために結成された組織です。小学校区を基本の単位とし、自治会・町内会を中心に、地域のさまざまな組織や団体で構成され、東区内では**12コミ協**が活動しています。  
今回はその中の2つのコミ協を紹介します。



桃山校区コミュニティ協議会 会長 鈴木 忠治

障がい者・高齢者も多数参加の交流事業

当コミュニティ協議会では、毎年、「三世代交流運動会」、「三世代交流まつり」、「親子料理教室」、「防災研修会」などを開催しております。これは、少子高齢化が進む中、地域間・世代間の交流を深めてもらうことを目的に、手作りで活動を企画しているものです。



また、牛海道中央公園に隣接する浜谷町町内会では、毎年、高齢者や車イスの方も参加できる運動会を盛大に開催しており、今年は10月1日に、雲一つない晴天の下、300人以上が参加し、盛り上がりました。



当コミュニティ協議会では、各自治会・町内会活動をサポートし、障がい者や高齢者も参加しやすい活動を推進していきます。

中野山小学校区コミュニティ協議会 会長 小松 茂

世代間の交流目指す恒例行事

当コミュニティ協議会の恒例行事である「星空観望会」が今年で10周年を迎えました。新潟天文研究会の協力のもと、15台の望遠鏡を設置し、夏の夜空を楽しみました。今年は457名の参加で賑わい、望遠鏡や双眼鏡で観る土星の輪や無数の天体に、会場は笑顔と歓声に包まれました。



恒例の「健康ウォーク」も今年で9回目。往復約8kmの道のりを皆で励まし合いながら歩きました。歩いた後は、中学生から美味しい豚汁とアルファ化米が振る舞われ、心も身体も温まりました。

行事の度に顔見知りも増え、地域の温かさを感じます。特に若い方々が積極的に運営に関わってくれることは何よりの励みです。



そうなんだ!  
東区について知るクイズ

全問正解者の中から抽選で**30名**に  
新潟市・佐渡市共通商品券  
1,000円分をプレゼント!



- ①東区の人口はおよそ13万8000人で、新潟市8区の中では(ア:1番目 イ:2番目 ウ:3番目)の多さです。
- ②東区は(ア:商店 イ:工場 ウ:大学)の数が、新潟市8区の中で1位となっています。
- ③東区内には小学校が(ア:8校 イ:10校 ウ:12校)あります。
- ④平成29年9月、東区に新しく(ア:警察署 イ:消防署 ウ:裁判所)が開設されました。

応募のきまり

ハガキにクイズの答え、郵便番号、住所、氏名、電話番号、本紙の感想・ご意見をお書き添えの上、郵送にてご応募ください。

○締め切り 平成30年1月31日(水)(必着)  
○送付先 下記の「事務局」あて  
※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

編集後記

第11号をお届けします。今号では、東区自治協議会の取り組みのほか、民生委員・児童委員の歴史や活動、東区クイズを掲載しました。クイズの応募と共にぜひ皆様からお声をお聞かせいただき、より愛され親しまれる広報紙をめざしてまいります。  
いよいよ冷え込みも厳しくなりましたが、健康には注意したいものです。(桑原 昭光)

発行者

新潟市東区自治協議会

事務局

〒950-8709  
新潟市東区下木戸1丁目4番1号  
東区役所地域課内  
TEL: 025-250-2110  
FAX: 025-271-8131  
E-Mail: chiiki.e@city.niigata.lg.jp

じちきょうぎかいだより  
平成29年  
12月17日(日)発行  
第11号

東警察署 開署記念 「東区安全安心フェスタ」が 開催されました!

10月28日、東警察署の開署を記念した「東区安全安心フェスタ」が開催されました。このイベントは、東警察署を区民で歓迎し、区と警察が一体となって安全・安心な地域づくりを進めていくために、東区自治協議会から記念事業の開催を提案し、実現に至りました。  
イベント当日は、区内の小・中学生、老人クラブの代表による安全安心宣言や音楽演奏、警察車両の乗車体験などが催され、多くの人でにぎわいました。  
警察署の新設にあたっては、東区自治協議会と東区長の連名で、警察署新設の要望書を県に提出した経緯があります。念願だった警察署の新設を機に、さらに安全で安心して暮らせるまちを目指して、東区自治協議会としても取り組んでいきたいと思えます。

寺山公園・子育て交流施設『い〜てらす』の整備進む! 平成30年4月オープン予定

東総合スポーツセンター隣に、多世代の健康づくりの場や防災機能を備えた寺山公園がオープンします。同公園内には、乳幼児から小学校低学年までが遊べるスペースや保育ルーム、多世代交流ができるスペースを備えた子育て交流施設『い〜てらす』が開設されます。

平成29年度

## 東区自治協議会提案事業

# 「東区まちづくりプロジェクト」活動報告

### 地域の防災体制を支援するために

担当：第1部会（市民協働部門）

部会長 長谷川 徳昭

今年度は4コミ協が「情報伝達訓練」を行うことになり、各コミ協で準備を進めてきました。訓練実施にあたっては、7月28日に公益社団法人中越防災安全推進機構の方を講師に迎えたワークショップ、11月1日に訓練参加者向けの事前説明会を開催しました。

訓練は、11月13日に山の下コミ協と下山コミ協、11月15日に桃山コミ協と木戸コミ協で行いました。訓練後には「振り返り」を行い、今後の改善に向けて引き続き検討していきます。



情報伝達訓練後の「振り返り」

### 東区をふれあいのある温かなまちへ

担当：第2部会（福祉・教育・文化部門）

部会長 佐藤 恵子

東区には地域の茶の間や子ども食堂など、誰もが気軽に集うことができ、心がホッとできる「居場所」がたくさんあります。今年度は、地域での居場所づくりの参考としてもらうため、居場所を紹介するマップの作成に取り組んでいます。10月には下山地区の地域の茶の間を見学し、活動の様子や工夫している点などお話を伺いました。

普段閉じこもりがちの方をはじめ多くの方に地域の居場所を知ってもらい、東区がさらにふれあいのある温かなまちとなるよう、取り組んでまいります。



地域の茶の間（イメージ）

### 東区の魅力発信と公共交通の充実を目指して

担当：第3部会（産業・環境部門）

部会長 國兼 忠男

今年度の事業として、東区の特徴でもある産業の「技術」や「モノ」にスポットを当て、発展してきた歴史的背景などを紹介する映像を制作します。9月には工場を見学させていただき、東区の産業が誇れるものであると再認識し、委員一同、制作に意欲を燃やしております。

また、公共交通についても協議しており、区バス社会実験の紫竹・江南ルートが、9月分収支率で今年度目標の20%を超えました。本格運行に向け、更なる利用者増を目指して、委員一同、頑張っております。



部会の様子

## 私たちこんなことやっています！

～特別篇～

### 民生委員・児童委員

#### 民生委員制度創設100周年

私たち民生委員・児童委員は、地域を暮らしやすいまちにするため、見守り活動や生活上の様々な相談に応じています。

今年は、民生委員制度創設100周年という大きな節目の年を迎え、7月に天皇皇后両陛下ご臨席のもと、東京で記念式典が開催されました。民生委員制度は、大正6年に岡山県に設置された「済世顧問制度」に始まり、その翌年、大阪府に設けられた「方面委員制度」により、広く全国に普及しました。方面委員から民生委員へと名称が改められたのは、昭和21年のことです。

「民生」とは、「国民の生活、生計」を意味しており、その改善、向上を担うのが民生委員です。現在、東区では民生委員に欠員が生じており、サービスが行き届かなかったり、委員一人一人の負担が大きくなってきています。これまで100年紡がれてきた先人の思いを引き継ぎ、これからも地域福祉の増進に邁進していきますので、皆様のご協力を宜しくお願いいたします。



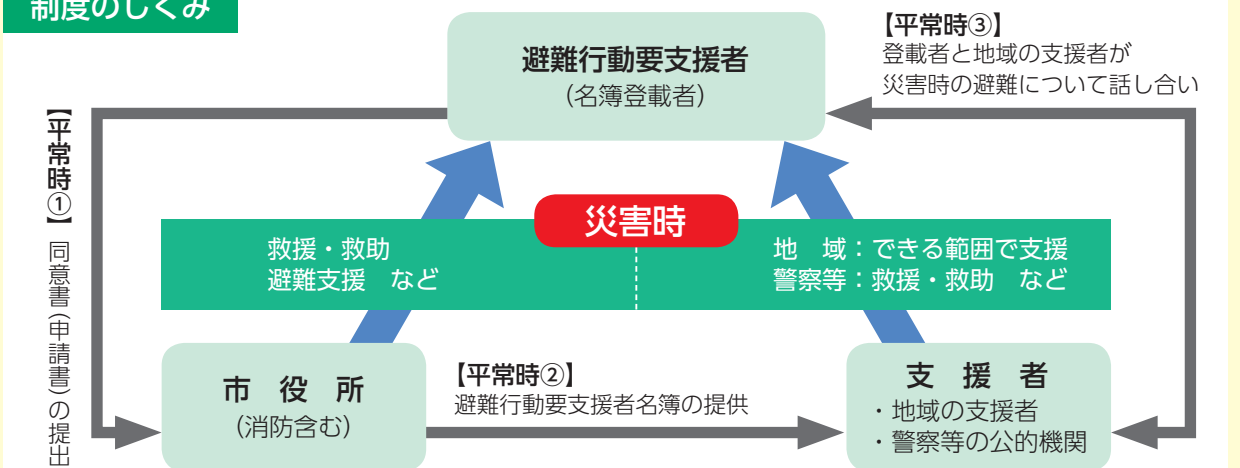
記念式典に参加した民生委員・児童委員の皆さん

#### 新潟市避難行動要支援者支援制度

民生委員・児童委員活動において、地域における自然災害への備えは大きなテーマとなっています。平成29年4月、これまでの「災害時要援護者支援制度」が、「避難行動要支援者支援制度」に移行しました。同制度に基づき、市では、災害時の被害を少なくするため、避難時に支援が必要な方の情報を記載した名簿を作成し、平常時から民生委員・児童委員などの避難支援等関係者へ提供しています。この名簿を日頃の声かけや顔の見える関係づくりに役立てるとともに、災害時には支援者が可能な範囲で避難支援や安否確認などを行います。

ただし、名簿に登載されたからといって必ず支援が行われるわけではありません。災害時は、可能な限り自分で自分の命を守る努力が大切です。

#### 制度のしくみ



（大澤 順子）